

トップメッセージ

CAMPは、未来を担うこどもたちの「共に創る力」を育むSCSKグループの社会貢献活動として、2001年4月にスタートしました。

CAMPワークショップでは、いろいろな表現方法を知り、創作体験や共同作業、作品の発表を通じて、こどもたちが楽しみながら自分に合った表現を見つけ、コミュニケーションの輪を広げていきます。ワークショップでの共創活動により、これからのこどもたちに必要な社会性、他者や多様性を受け入れ、楽しむ心を育みます。

近年、環境問題や人権問題など世界規模の問題が、身近なものとして感じられるようになりました。この複雑で解決困難な課題は、こどもたちにも引き継がれていきます。長期的な視点で社会課題の解決に貢献する「サステナビリティ経営」を成長戦略として推進しているSCSKグループは、グローバル社会の一員として、世界中のこどもたちの健全な成長に少しでも貢献し、夢ある未来を拓いていかねばならないと考えます。

多くの社員がボランティアとしてCAMPに携わっており、参加する社員にとっても、こどもたちと共に学びと気づきを得る有意義な機会となっています。これからもCAMPの活動を通して、こどもたちと共に、社員と共に、地球上の人々が豊かにいきいきと暮らせる夢ある未来の実現を目指してまいります。

今後ともみなさまのご支援をお願いいたします。

SCSK株式会社
代表取締役 執行役員 社長

當麻 隆昭

共創事例

CAMPでは、他企業や自治体、大学と共に
ワークショップの開催や研究を行っています。

紹介

01

ダイビル株式会社様

①ダイビル株式会社



ダイビル株式会社では2005年度より、SCSKグループの社会貢献活動「CAMP」に賛同し、CAMPワークショップを秋葉原ダイビルで継続的に開催しています。これからも地域の皆さんに愛され、こどもたち

の未来をひらく次世代育成として、地域に根付いていく活動を継続していきたく考えています。

ダイビル株式会社 東京営業部営業課
豊福 日向子 様

詳しくは
コチラを
CHECK!



ダイビル株式会社様との共催実績
(2005～2023年度)

▶ ワークショップ開催回数	46回	▶ 参加者数	819名
▶ ファシリテーター研修会開催回数	21回	▶ 参加者数	260名

紹介

02

東京大学大学院 情報学環山内祐平研究室

2008年度から、山内祐平研究室とワークショップに関わる研究を行っています。大人になった参加経験者にインタビューを行い、CAMPのワークショップに参加した経験がその後のキャリアへどのような影響を及ぼしたのか調査研究を行いました。結果、以下のような影響や効果がありました。

- | | |
|------------------|----------------|
| ① 好奇心や興味関心の深まり | ④ リーダーシップの向上 |
| ② コミュニケーション能力の向上 | ⑤ 思考の方法の伝達 |
| ③ キャリアの選択への影響 | ⑥ 成果以外の評価基準の形成 |

あゆみさん

参加年:2005年～2012年
参加回数:25回



詳しくは
コチラを
CHECK!



ともさん

参加年:2002年～2005年
参加回数:20回



SCSK

SCSK株式会社 サステナビリティ推進部
CAMPスタジオ
〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
●Email:contact@camp-k.com ●https://www.camp-k.com/



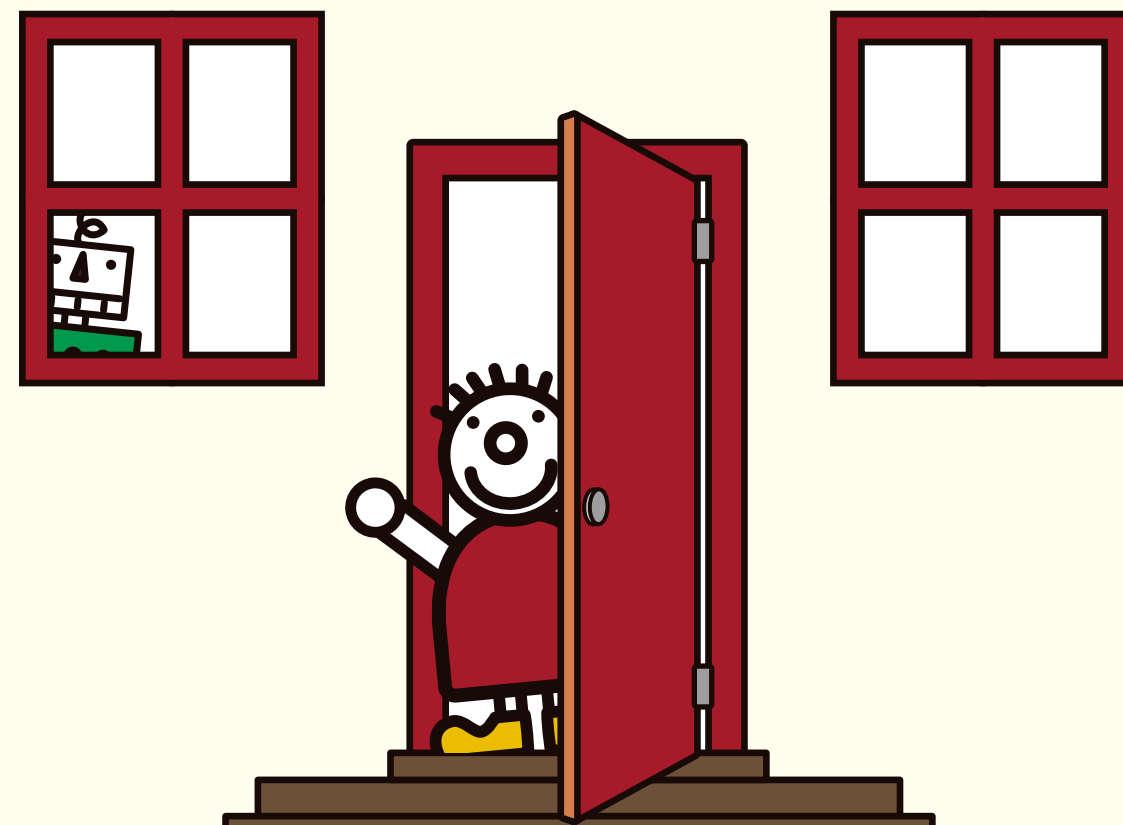
有機溶剤の少ない植物油のインク及びFSC®認証用紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」を採用しています。

2024.05

CAMP

Children's Art Museum & Park

since 2001



CAMPとは

初めて会ったこどもたち同士で
アイデアを出しながら、
思いを形にしていく



CAMP
Children's Art Museum & Park

未来を担うこどもたちの「共に創る」力を育む、
SCSKグループの社会貢献活動

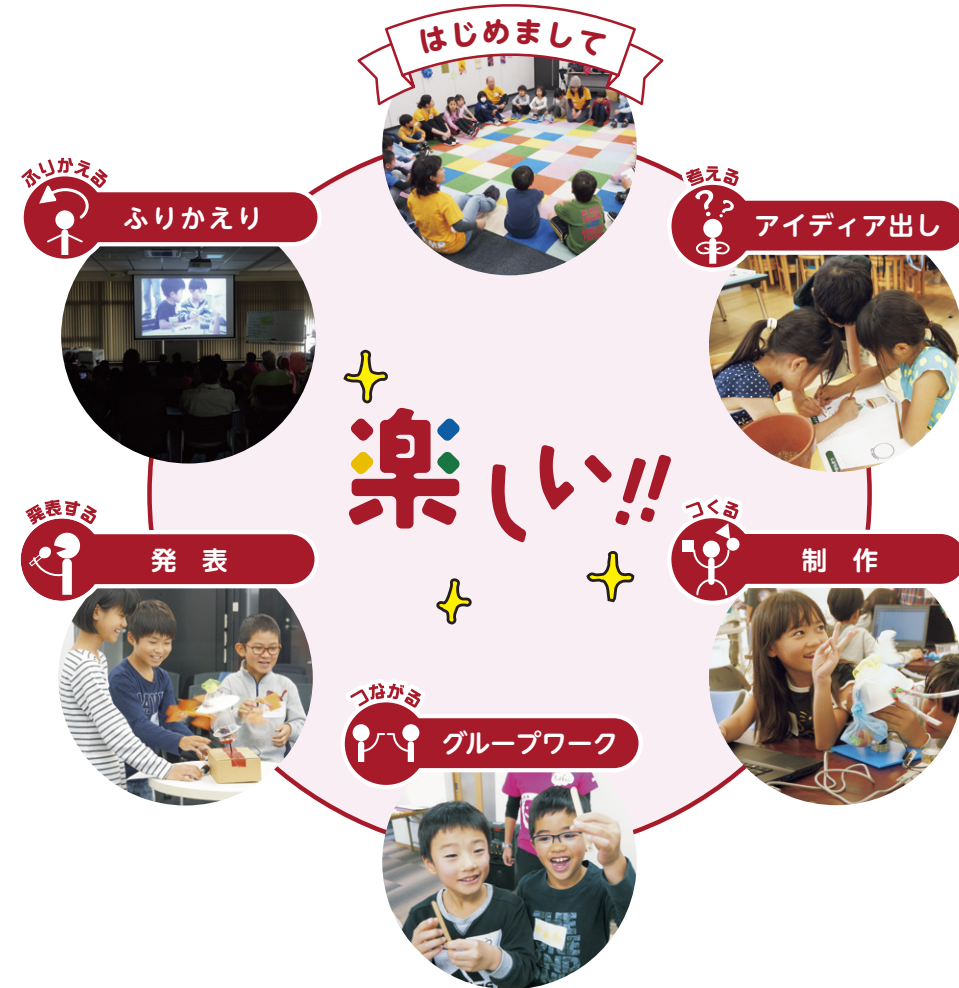
ワークショップを通じていろいろな表現方法を知り、グループでの共創活動により、これからのこどもたちに必要な社会性、他者や多様性を受け入れ楽しむ心を育みます。



CAMPのワークショップ

詳しくは
コチラを
CHECK!

CAMPワークショップでは、創作体験や共同作業、作品の発表を通じて、こどもたちが楽しみながら自分に合った表現方法を見つけ、コミュニケーションの輪を広げていきます。

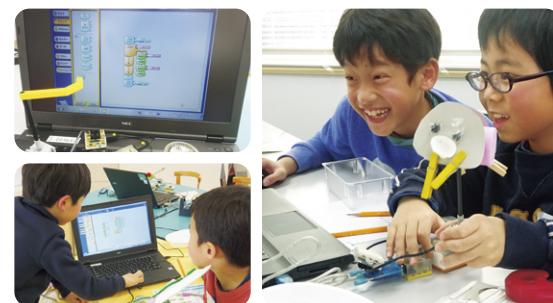


CAMPは、ワークショップでこどもたちが体験するプロセス「考える」「つくる」「つながる」「発表する」「ふりかえる」を大切にしています。そして、そのプロセスにおいて、こどもたちが主体的に楽しんで活動できることがなによりも大切だと考えています。

CAMPワークショップ紹介①

CAMPクリケットワークショップ

乾電池式の小さなコンピューター「クリケット」でプログラミングの楽しさを体験できるワークショップです。「クリケット」に、モーターやライト、センサーやスピーカーといろいろな素材と、みんなのアイデアをくみあわせ、プログラミングして、動くおもちゃをつくります。
(サポート：MITメディアラボ)



小学1年生でも
プログラミングできる!

自分たちでつくった
作品が動く楽しみ

試行錯誤しながら
コミュニケーション

CAMPくうそう・しょくぶつ・図鑑ワークショップ

ふしぎなタネをきっかけに、空想しながら未知の植物を育てるワークショップです。見たこともないふしぎなタネを植木鉢に植えて、みんなのアイデアを注ぐと、どんな芽がでる?どんな花がさく?みんなで新しい植物を考えます。



低学年ならではの豊かな空想力で
現実と空想の世界を行き来する

ひとつのタネから、
イメージを膨らませて形にする

CAMPワークショップ紹介②

詳しくは
コチラを
CHECK!

CAMPとあるドローンの冒険ワークショップ ～ドローン×プログラミング～

擬人化したドローンの性格を考え、ハブニングに対するドローンの反応や動きをプログラミング。グループでひとつのストーリーをつくります。ドローンの性格や感情に想像を働かせることで、他者と自分との個性の違いを考えるワークショップです。SCSK社員のアイデアをもとに開発しました。
(共同開発：東京大学大学院情報学環 山内祐平研究室)



プログラミングの
楽しさを知る

ドローンを人に見立てて
性格や感情を考えることで、
ほかの人との違いを感じる

思い通りにいかない部分
を楽しむ!と感じる体験

オンライン

おうちCAMPワークショップ てくてくつくもがみ ～コマドリアニメをつくろう～

おうちの中にある「ほったらかしモノ」を使って、コマドリアニメをつくるオンラインワークショップです。昔は大事にしていたけど今はほったらかしているモノに、顔や手足をつけて、「つくもがみ」に。そのつくもがみを少し動かして、写真をとる、少し動かして、写真をとる…。続けて見るとあら不思議。命がふきこまれたかのように動き出した!?
(共同開発：東京大学大学院情報学環 山内祐平研究室)



事前工作(アナログ)と
コマ撮りアニメ(デジタル)、
両方の表現方法を体験

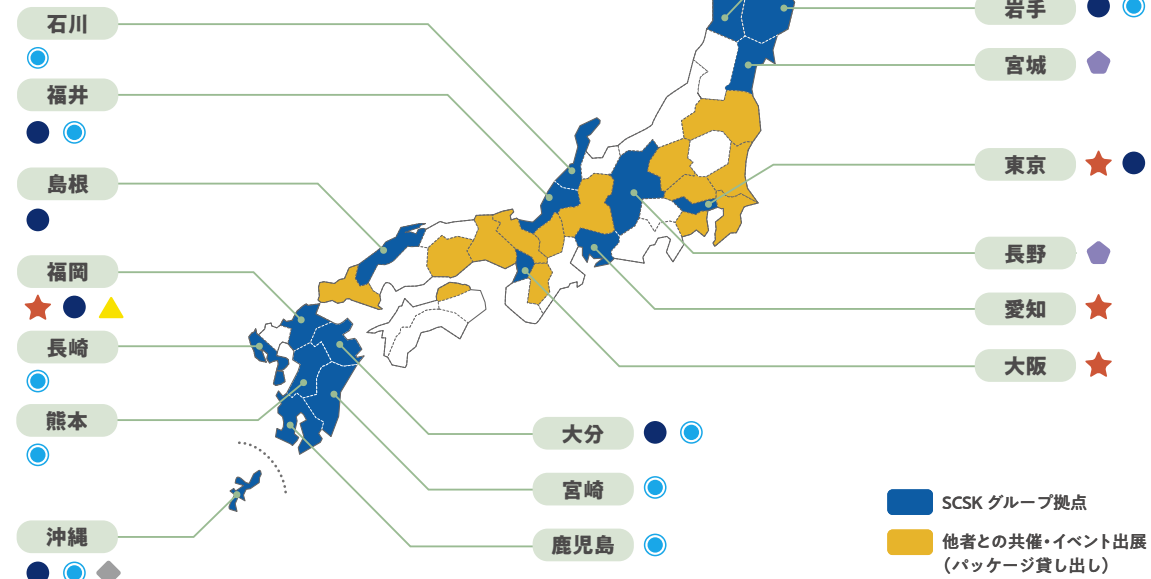
「ほったらかしモノ」を生まれ変わらせることで、
新たな価値を見出す・新たな視点に気づく

CAMPワークショップのひろがり

詳しくは
コチラを
CHECK!

SCSKグループ拠点を中心に、日本全国で活動しています。 ワークショップ開催数1,200回以上、総参加者数24,000人以上(2001年～)

- ★ SCSK
- SCSK サービスウェア
- ▲ SCSK Minor ソリューションズ
- ▲ SCSK 九州
- SCSK 北海道
- SCSK ニアショアシステムズ
- ◆ ペリサーブ沖縄



Pick up!

SCSKサービスウェア株式会社
SCSKニアショアシステムズ株式会社
株式会社ペリサーブ沖縄

名桜大学

SCSKグループでは各地区の自治体や大学と連携してCAMPワークショップを開催しています。2019年12月には沖縄県名護市教育委員会後援のもと、名桜大学内にてSCSKグループ社員と名桜大学の学生がCAMPワークショップを共同で運営しました。



CAMPファシリテーターの育成

CAMPファシリテーターは、ワークショップを円滑に運営し、こどもたちがより楽しく、クリエイティブで充実した時間を過ごせるようにサポートします。ワークショップの主役はあくまでも「こども」。指導するのではなく、こどもたちの自主性やコミュニケーションを引き出しながら、こどもたち自身が持つ力を存分に発揮できるように、適切なタイミングでサポートを行います。



ファシリテーションスキルとは？

新しい価値を 創造する力

- 他者をオープンに受け入れる心
- 協働
- 粘り強さ
- 拡散的思考
(=同じ問題に対し複数の
解決案を生み出す思考)

対立やジレンマを 克服する力

- コミュニケーション力
- 共調整スキル(=協調性)
- 他者視点の取得と認識の柔軟性
- コンフリクトの解決
- レジリエンス

責任ある行動を とる力

- 問題解決力
- 責任感
- 自己コントロール
- メタ学習スキル(=応用力)

(参考：OECD Education 2030)



向き
合う



信じる



こども
が主役



気づく



常に
新しく



CAMPファシリテーター研修会



「ファシリテーターとしての心構えと役割」「こどもたちへの関わり方」についての講習のほか、CAMPのワークショップ体験や受講者同士でのディスカッションを通じて、楽しみながらファシリテーションを習得するとともに、コーチングやチームビルディングを学ぶことができます。研修会受講後ファシリテーターとして参加し、多様なコミュニケーションスタイルに「触れる」「考える」「ふりかえる」ことで、さらなる学びや気づきの機会にもなります。



受講者の声

実務にも活かせる内容が多くあり、
学ぶことがあった。
社内での研修や業務で取り入れたい
と思いました。(会社員)

ファシリテーターに大切な要素は、
親にとっても
また社会人にとっても大切な内容
と感じました。(会社員)

こどものやる気や考えを引き出す
ことの重要性を学ぶことができ、
これからの対人関係構築に活用
していきたいです。(大学生)

ロールプレイや
ワークショップ体験もあったので、
説明を受けるだけの研修じゃない
のがいいと思います。(大学生)

これまでに秋田大学・秋田県立大学・金沢工業大学・福井県立大学・長崎大学・長崎県立大学・大分大学・
熊本県立大学・熊本県立技術短期大学校・鹿児島大学・琉球大学・沖縄国際大学・名桜大学の学生が参加しました！

日本各地でCAMPファシリテーター研修会を開催しています。
詳細はこちらからご覧ください。

